



撮影：秋山庄太郎
写真提供：秋山庄太郎写真芸術館



撮影：早田雄二
映画「白痴」ロケ地にて
写真提供：株式会社マールランド

その美しき微笑みと愁い 映画に愛され、 銀幕を魅了した 女優の軌跡

『ためらふ勿れ若人よ』でデビューとなった15歳の新人女優は、役名の一部から「原節子」と名付けられました。類まれなる美貌でたちまち注目を浴び、16歳で日独合作映画『新しき土』のヒロインを演じ、映画は大ヒットを記録します。戦後は『わが青春に悔なし』、『東京物語』などに出演、日本映画界を代表するスター女優として、多くの名作を残します。しかし、昭和37年『忠臣蔵』への出演を最後に、表舞台には一切出ることなく、その存在は永遠の伝説として人々の心に深く刻み込まれました。

本企画展は、写真家・秋山庄太郎、早田雄二によるポートレートや映画資料などの展示、出演作品や『新しき土』関連映像の上映を中心に、鎌倉にゆかりの深い女優・原節子の軌跡を辿ります。今も多くの人々を魅了し続けるその美しさを、名作の数々とともにぜひご覧ください。



『驟雨』（1956年）ポスター
東京国立近代美術館フィルムセンター所蔵



『新しき土』（1937年）公開当時のチラシ

秋山氏、早田氏によるポートレートは、他にも展示されています。

映画上映作品

上映日：11月4日(月・祝)、6日(水)、7日(木) **チケット発売 10月19日(土)**

新しき土 (日独合作映画)

2回上映	1回上映	1回上映
11月4日	11月6日	11月7日
午前 10:30*		
午後 2時	午後 2時	午後 2時

1937年/106分/白黒/ブルーレイ/日独版
監督：アーノルド・ファンク 共演：小杉勇、早川雪洲、ルート・エヴェラー
ドイツ映画の巨匠ファンク監督が、伊丹万作と共作した日独合作映画。ファンク監督が撮影所で見かけた15歳の原節子の美貌に一目ぼれ、主役のヒロインに大抜擢された。



特別観覧料 ()内は団体料金
一般300円(210円)/小・中学生150円(105円)
映画鑑賞料 ※展示もあわせてご覧いただけます。
一般800円/小・中学生400円

協力：秋山庄太郎写真芸術館、一般社団法人 映画演劇文化協会、植木金矢、株式会社マールランド、株式会社リュウスタジオ、東京国立近代美術館フィルムセンター、日本ドリームコンテンツ株式会社【敬称略・五十音順】

映画鑑賞料金

映画鑑賞券のご提示で企画展もご覧いただけます。販売枚数に達した場合、当日券の販売はございません。

一般 800円 | 小・中学生 400円 《記念館窓口、烏森書店(鎌倉店)、たらば書房にてチケット販売》

上映日：11月8日(金)～10日(日)

チケット発売 10月19日(土)



娘・妻・母

2回上映	1回上映	1回上映
11月8日	11月9日	11月10日
午前 10:30*	午前 10:30*	
午後 2時	午後 2時	午後 2時

1960年/122分/カラー/35mm
監督：成瀬巳喜男 共演：高峰秀子、宝田明、森雅之、仲代達矢
東京山の手の裕福な一家を舞台に、老母と暮らす長男夫婦、出戻りの長女、それに二男二女夫婦による家族間の人間模様を展開される。

上映日：11月19日(火)～21日(木)

チケット発売 10月19日(土)



安城家の舞踏会

2回上映	1回上映	1回上映
11月19日	11月20日	11月21日
午前 10:30*		
午後 2時	午後 2時	午後 2時

1947年/89分/白黒/35mm
監督：吉村公三郎 共演：滝沢修、森雅之、逢初夢子、津島恵子
監修：成瀬巳喜男 共演：上原謙、島崎雪子、杉葉子、小林桂樹
日本映画を代表する美女原節子と二枚目上原謙、この両者が中年のサラリーマン夫婦を演じ、昼の出現で波風の立つ夫婦関係をきめ細かく描かれる成瀬の秀作。

上映日：11月22日(金)～24日(日)

チケット発売 10月19日(土)



小早川家の秋

2回上映	1回上映	1回上映
11月22日	11月23日	11月24日
午前 10:30*	午前 10:30*	
午後 2時	午後 2時	午後 2時

1961年/103分/カラー/35mm
監督：小津安二郎 共演：中村錦之助、司葉子、新珠三千代、宝田明
京都の伏見の造り酒屋を舞台に、道楽者の老主人とその家族のやり取りがほほえましく描かれる。廣治郎と新珠が演じる父娘の会話の応酬は思わず笑いを誘う。

上映日：11月26日(火)～28日(木)

チケット発売 10月19日(土)



わが青春に悔なし

2回上映	1回上映	1回上映
11月26日	11月27日	11月28日
午前 10:30*		
午後 2時	午後 2時	午後 2時

1946年/110分/白黒/35mm
監督：黒澤明 共演：藤田進、大河内傳次郎、杉村春子、河野秋武
京大事件やゾルゲ事件をもとに描いた黒澤監督にとつての戦後第一作。原節子は獄死した反戦活動家の妻を熱演し、演技開眼のきっかけともなった。

上映日：11月29日(金)～12月1日(日)

チケット発売 10月19日(土)



白痴

2回上映	1回上映	1回上映
11月29日	11月30日	12月1日
午前 10:30*	午前 10:30*	
午後 2時	午後 2時	午後 2時

1951年/166分/白黒/35mm
監督：黒澤明 共演：三船敏郎、森雅之、久我美子、志村喬
黒澤監督が敬愛する文豪ドストエフスキの同名小説の映画化。原節子の異様な美しさが際立つ作品である。興行上カットされた場面が字幕で補われている。

※1月の上映日程は、次回チラシにてご案内いたします。

上映日：12月3日(火)～5日(木) **1日1回上映です**

チケット発売 11月16日(土)



お嬢さん乾杯

1回上映	1回上映	1回上映
12月3日	12月4日	12月5日
午前 10:30*		
午後 2時	午後 2時	午後 2時

1949年/89分/白黒/35mm/東京国立近代美術館フィルムセンター所蔵作品
監督：木下惠介 共演：佐野周二、佐田啓二、青山杉作、坂本武
戦後の没落華族と成り上り者を推したもので、当時、黒澤と並ぶ若手監督の鬼才・木下の傑作コメディ。佐野の三枚目ぶりとの深窓のお嬢さん役のコンビが絶妙である。

上映日：12月6日(金)～8日(日)

チケット発売 11月16日(土)



めし

2回上映	1回上映	1回上映
12月6日	12月7日	12月8日
午前 10:30*		
午後 2時	午後 2時	午後 2時

1951年/97分/白黒/35mm 原作：林芙美子
監督：成瀬巳喜男 共演：上原謙、杉葉子、杉葉子、小林桂樹
日本映画を代表する美女原節子と二枚目上原謙、この両者が中年のサラリーマン夫婦を演じ、昼の出現で波風の立つ夫婦関係をきめ細かく描かれる成瀬の秀作。

上映日：12月10日(火)～12日(木)

チケット発売 11月16日(土)



山の音

2回上映	1回上映	1回上映
12月10日	12月11日	12月12日
午前 10:30*		
午後 2時	午後 2時	午後 2時

1954年/95分/白黒/35mm 原作：川端康成
監督：成瀬巳喜男 共演：山村聰、上原謙、杉葉子、中北千枝子
川端の同名小説の映画化。夫の不倫に耐え忍んでいる息子の嫁に、同情とも愛情ともつかない感情を抱く老父、複雑な人間関係と心理が見事に描かれている。

上映日：12月13日(金)～15日(日)

チケット発売 11月16日(土)



驟雨

2回上映	1回上映	1回上映
12月13日	12月14日	12月15日
午前 10:30*		
午後 2時	午後 2時	午後 2時

1956年/90分/白黒/35mm 原作：洋田園土
監督：成瀬巳喜男 共演：佐野周二、香川京子、小林桂樹、根岸明美
劇作家岸田の戯曲の中から家庭・家族を扱った数篇を水木洋子脚本化し、倦怠期の夫婦、夫と喧嘩して同居する姪と新婚夫婦との人間模様を展開される。

上映日：12月20日(金)～22日(日) **1日1回上映です**

チケット発売 11月16日(土)



忠臣蔵 花の巻・雪の巻

1回上映	1回上映	1回上映
12月20日	12月21日	12月22日
午後 1時	午後 1時	午後 1時

1962年/207分/カラー/35mm
監督：稲垣浩 共演：松本幸四郎、三船敏郎、司葉子、加山雄三
年末恒例の東宝のオールスター・キャストによる大作。原は大石内蔵助の妻らしく役で出演、以後スクリーンに戻ることは無かった。この時42歳。

※ 画・音不良箇所により場合によって上映素材の変更がありますことをご了承ください。

一般 800円 | 小・中学生 400円 《記念館窓口、島森書店(鎌倉店)、たらば書房にてチケット販売》



1957年
98分
白黒
35mm

原作：
高村光太郎
監督：
熊谷久虎
共演：
山村聡、
柳永二郎、
三好栄子、
太刀川洋一

智恵子抄

上映日：1月7日(火)～9日(木)

チケット発売 12月21日(土)

2回上映 1月7日	1回上映 1月8日	1回上映 1月9日
午前 10時30分		
午後 2時	午後 2時	午後 2時

同名詩集をもとに映画化。詩人で彫刻家の夫と画家の新妻は愛に満ちた日々を送るが、妻は次第に病魔に襲われ…。熊谷監督は原の義兄にあたる。



1960年
116分
白黒
35mm

監督：
稲垣浩
共演：
森繁久彌、
山村聡、
夏木陽介、
江利チエミ

ふんどし医者

上映日：1月10日(金)～12日(日)

チケット発売 12月21日(土)

2回上映 1月10日	1回上映 1月11日	1回上映 1月12日
午前 10時30分		
午後 2時	午後 2時	午後 2時

原には珍しく時代ものでバクチ好きの女房を演じ、負けが込んで亭主の衣類まで賭けるため、夫の蘭方医は「ふんどし医者」と称された人情喜劇。



1960年
128分
カラー
35mm

監督：
小津安二郎
共演：
司葉子、
岡田茉莉子、
佐田啓二、
佐分利信、
笠智衆

秋日和

上映日：1月21日(火)～23日(木)

チケット発売 12月21日(土)

2回上映 1月21日	1回上映 1月22日	1回上映 1月23日
午前 10時30分		
午後 2時	午後 2時	午後 2時

小津の端正な演出がますます冴えわたり、中年の未亡人を演じた原の気品が匂い立つような作品である。未亡人を巡る中年男性達の会話が思わず笑いを誘う。



1953年
136分
白黒
35mm

監督：
小津安二郎
共演：
笠智衆、
東山千栄子、
杉村春子、
香川京子

東京物語

上映日：1月24日(金)～26日(日)

チケット発売 12月21日(土)

2回上映 1月24日	1回上映 1月25日	1回上映 1月26日
午前 10時30分	午前 10時30分	
午後 2時		午後 2時

家族とはなにか、親子とはなにかを問いかける日本映画の傑作。何気ない日常風景が深刻な事実の上に存在している現実を痛切に描いている。

シネマ・セレクション Vol.6

料金：一般 800円
小・中学生 400円

上映日：1月19日(日)

チケット発売 12月21日(土)



家族ゲーム

(英語字幕版上映あり)

1月19日 2回上映

午前 10時30分	午後 2時
英語字幕あり	英語字幕なし

1983年/106分/カラー/35mm 原作：本間洋平
監督：森田芳光 出演：松田優作、伊丹十三、由紀さおり、宮川一朗太
★キネマ旬報ベスト・テン第一位 ★ATG(日本アート・シアター・ギルド)公開作品
昨年の茅ヶ崎映画祭では、生まれ故郷の森田監督特集が組まれ、本作はオープニングに上映された。松田優作演じる型破りな家庭教師や、長テーブルの食卓で目玉焼きの黄身を口にあててチューと吸う奇妙な父を伊丹十三が演じるなど、可笑しくもどこか不気味な家族関係を描いた当時の話題作であり、今もって斬新であり続ける監督の代表作。

第5回鎌倉シネサロン

料金：一般 500円
小・中学生 250円

1月25日(土) 午後2時開始

チケット発売 12月21日(土)

「鎌倉ゆかりの画家・植木金矢の描く映画世界」 植木金矢氏(画家)

昭和25年に講談挿絵の画家としてデビュー以来、人気画家として活躍した植木氏。独学で日本画を学び、映画作品をモチーフに、今も多くの作品を発表されています。鎌倉市植木在住のご本人をお招きして、その作品世界の魅力に迫ります。

【次回予定】平成26年1月30日(木)～3月30日(日)

『世界に名画を求めて』

～エキブ・ド・シネマの40年～

協力：秋山庄太郎写真芸術館、一般社団法人映画演劇文化協会、植木金矢、株式会社マーランド、株式会社リュウスタジオ、東京国立近代美術館フィルムセンター、日本ドリームコンテンツ株式会社【敬称略・五十音順】

小津安二郎
生誕110年・
没後50年
記念関連上映